

2015年2月17日 掲載 カーゴジャパン

トナミ・第一・久留米

三多摩地区の配送業務を一元化

ウインローダーに資本参加し、3社の配送業務を集約

トナミ運輸、第一貨物、久留米運送の3社はこのほど、輸配送業務の効率的運営を目的として、ウインローダー（本社・東京都杉並区、高嶋民仁社長）に資本参加するとともに、三多摩地区の配送業務を同社に一元化した。

トナミ、第一、久留米の3社は2012年9月に東京―大阪間の幹線輸送を担う共同出資会社「ジャパン・トランス・ライン」を設立するなど輸配送業務の共同化を進めている。

今回、三多摩地区あての配送業務について集約メリットが高いと判断したことから、トナミ運輸が従来から業務提携していたウインローダーに配送業務を一元化したもの。三多摩地区とは、東京都のうち特別区（23区）と島しょを除いた32市町村の総称。

なお、ウインローダーは1950年の設立で資本金5000万円。一般区域貨物自動車運送事業を主業務としている。